

ハスモンヨトウ情報第1号 (ダイズ)

平成24年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

フェロモントラップによるハスモンヨトウの7月（第5半旬まで）の誘殺数は、概ね平年並で推移しています（図1）。

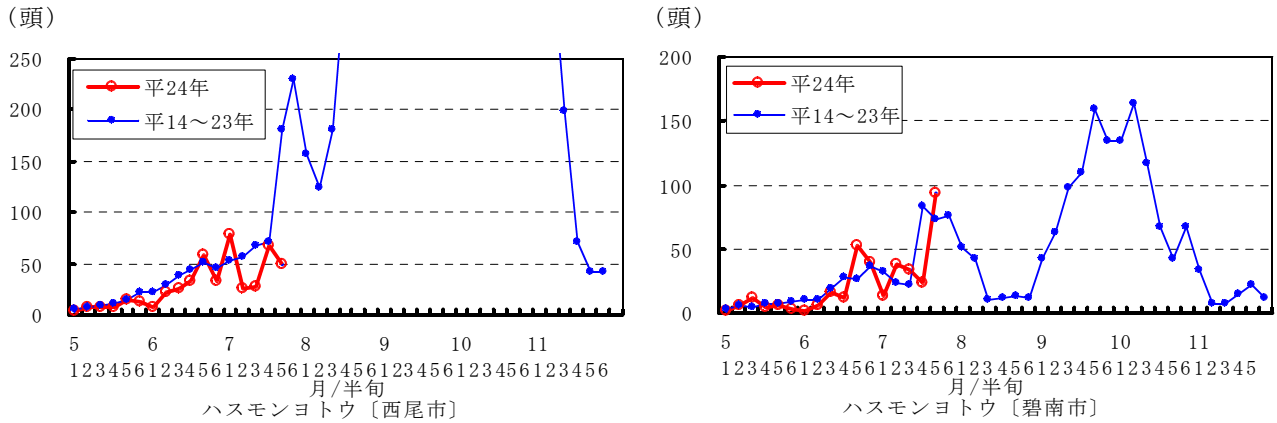


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

気象予報によれば8月は気温が「平年並」と「高い」がそれぞれ40%、降水量は「少ない」が40%と、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が予想されています。そのため、現状の発生量がやや少なくても、8月上中旬頃から発生量が急増する可能性があるため、ほ場での発生動向に注意が必要です。

ほ場での観察をしっかりと行い、白変葉（図2）及び幼虫（図3）が見られたら、下表を参考に防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの幼虫

表 ハスモンヨトウの主な防除薬剤

作物名	薬剤名
ダイズ	ロムダンフロアブル
	ラービフロアブル
	トレボンEW
	マッチ乳剤
	トルネードフロアブル
	プレバソソフロアブル5
	マトリックフロアブル